

平成30年度第2回岡山県私立学校審議会議事録

- 1 日時：平成31年2月20日（水）10:00～12:00
- 2 場所：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井2-6-41）
- 3 出席委員：川口委員、塩山委員、杉本委員、高橋委員、竹井委員、
田中委員、早瀬委員、平田委員、光岡委員、三宅委員
- 4 議事録署名委員：竹井会長、平田委員、光岡委員

5 議事内容

(1) 過半数の委員出席により会議の成立を確認

(2) 諮問事項について以下のとおり審議

① 岡山学芸館高等学校の収容定員に係る学則の変更認可について

➤ 申請内容

普通科第2学年（360人→400人）、普通科第3学年（360人→400人）

➤ 質疑・意見

委員：変更の理由に引き続き定員を超える入学希望が見込まれるとあり、今現在もそういう数字も示された。入学希望者が魅力ある私立を志望する流れがあるのか。

事務局：高等学校教育研究協議会で公私比率を70:30ということで、毎年決めているが、実際の割合は、ここ数年あまり変化がない。

委員：入学定員の枠で縛ることは、将来考える必要がある。

➤ 結果

認可が適当

② 第一ひかり幼稚園の収容定員に係る園則の変更認可について

➤ 申請内容

3歳児（80人→75人）、4歳児（90人→87人）、5歳児（90人→87人）

➤ 質疑・意見

委員：定員を減らして、きめ細かく目が行き届くようにという考え方はわかるが、一方で、一人一人の先生方の力量、つまり発達障害や情緒障害に園としてどのように支援しているのか、事務局で尋ねてほしい。保育待機児童等の問題もある中で、単に定員を減じることはどうなのか。

事務局：園に御意見を伝えたい。

委員：特に発達障害等については外部の施設との連携、協力が、就学前の対応として、非常に重要だと思うので、併せて確認してほしい。

➤ 結果

特別支援教育の取組、専門機関との連携等について、事務局が確認することで、認可が適当。

③ 第三ひかり幼稚園の収容定員に係る園則の変更認可について

➤ 申請内容

満3歳児（40人→0人）、3歳児（75人→78人）、4歳児（80人→87人）、5歳児（80人→87人）

➤ 結果

教育と保育の両立、特別支援教育の取組及び専門機関との連携等並びに定員増加の根拠について事務局が確認することで、認可が適当。

④ 旭川荘厚生専門学院吉井川キャンパスの目的変更の認可について

➤ 申請内容

学則の目的の文言に社会福祉主事任用資格を取得する施設であることを加える。

➤ 質疑・意見

特になし

➤ 結果

認可が適当